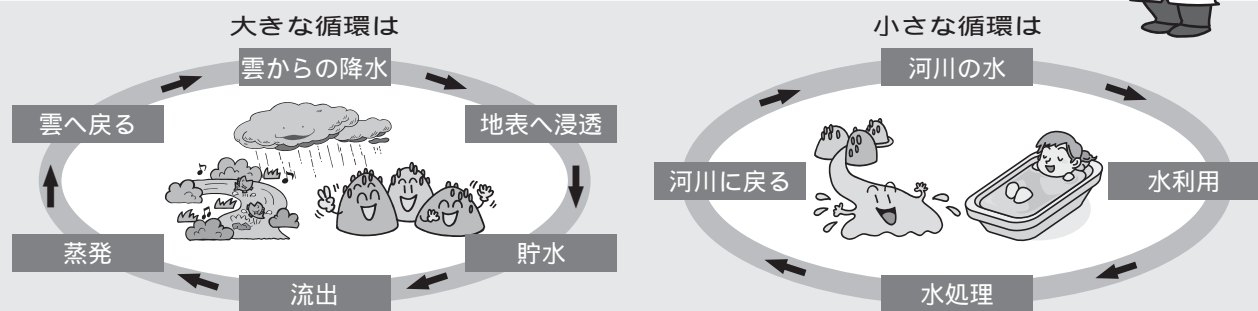


## 水の旅 ～世界を巡る水～

皆さんが日常飲んでいる水、実は世界中を回って長い年月をかけてたどり着いたものということをご存じでしょうか。水は大きな循環と小さな循環をつくって常に地球上を回っています。



大小の水循環が適切に行われることによって、すべての生き物の営みに必要な健全な水の存在が保たれています。健全な水循環は地表への浸透や流れの過程の中で水質を浄化し、川や地下水などの水量を確保します。また、多様な生態系の維持や水辺の保全など、さまざまな重要な機能があります。

これまで人間が行ってきた一部の無秩序な産業・社会行動が自然環境に変化をもたらした結果、水を取り巻く環境にまで影響を与えています。健全な水循環のために環境保全などの取り組みがなければ、汚れた水がまた再び私たちの元に戻ってくるといえます。

## 苫小牧市の水道行政の取り組み

おいしい水を守るため、市では次のような取り組みを行っています。

### 水源地域の保全と整備

#### ● 水源保護地域を指定

平成9年に「苫小牧市水道水源の保護に関する指導要綱」を施行し、錦多峰川流域約226ヘクタールを「水源保護地域」に指定。河川への直接排水や地下水を通して流出が考えられる事業所などに水源保全の協力を要請しています。

#### ● 水源保全林「丸山水源の森」購入

平成11年に勇払川支流（丸山川）に隣接する丸山地区の国有林の一部約4.2ヘクタールを国から購入し、水源の保全を図るとともに植樹などにより整備を進めています。

### 清掃活動の実施

国・道・一般企業と連携をとりながら、「水を汚染から守る会」を設立。春・秋の2回、錦多峰川水源周辺を清掃し、水源環境の保全に努めています。

### 水に関する情報と学習機会の提供

水環境への関心と保全の意識を持ってもらうことを目的に、毎年6月に水道施設見学会を開催。取水場など各施設を見学し、上水や下水の仕組みを学びます。

### 各施設の省エネルギー化

地球温暖化対策のため、各施設での太陽光発電や水力発電の導入に向け、調査・検討をしています。

置や魚の飼育を行い、水質の異常をいち早く察知できるように管理しています。

さらに、水道事業が目指す方向性を定めた水道ビジョンに基づき、今後も多くの施策に取り組み、おいしい水を守っていきます。

全国的にも評価の高い苫小牧の水道水。豊かな自然環境から作られるおいしい水は、苫小牧の誇るべきものです。この自然の恵みを自信を持って送り出しています。感じてください。おいしい水を。



### 錦多峰浄水場 急速ろ過方式

錦多峰川の原水を、急速ろ過方式という高丘浄水場とは違う方法で水道水に処理します。1日に50～60m流れる速さで「おいしい水」を作っています。

#### 1 急かく池・フロック形成池



原水に薬品を入れ、かくはんします。すると原水に含まれる濁りに薬品が吸着し、フロック（浮遊物の集合体）を形成します。

#### 2 沈でん池



水槽内に斜めに入れてある板にフロックが吸着し、フロックが大きくなると沈殿します。

#### 3 ろ過池



塩素を加え、ろ過装置を通して水道水が完成します。写真の窓の下にろ過装置があります。

## 錦多峰浄水場系のおいしい水ができるまで

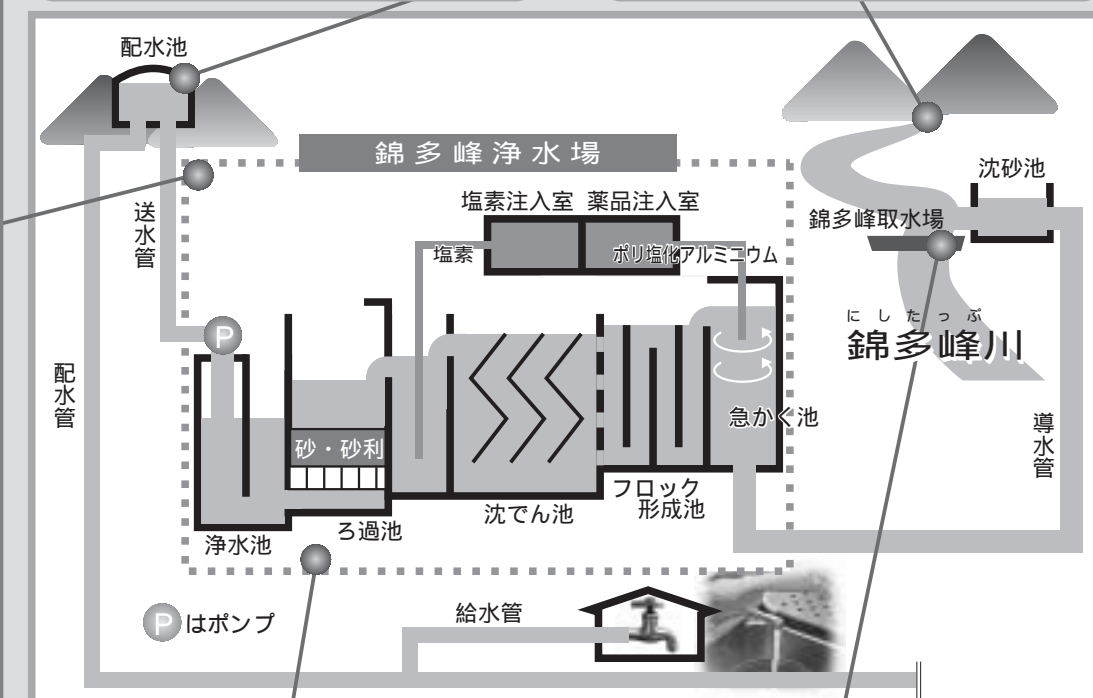
おおむね苫小牧川を境に西側の市民には、錦多峰川からの水を供給しています。

### 配水池

浄水場で出来上がった水道水をためておく池です。内径33m、有効水深8m、6,840m<sup>3</sup>の容量の池が2つあります。（写真は屋上から撮ったもの）

### 錦多峰川源流部

錦多峰川は延長6kmの2級河川で、道道樽前錦岡線から口無沼方向へ1km程の場所に水源があります。写真中央より大量の湧水が出ています。



### 送水ポンプ

完成した水道水を高台の配水池へ送るためのポンプです。

### 水質試験室

安全な水が飲めるように毎日水質検査をしています。

### 錦多峰取水場

鋼製の取水せきにより、錦多峰川の表流水を取り入れていきます。取り入れた水は隣にある沈砂池で砂などを沈降させ、浄水場へ送ります。

### 錦多峰浄水場系

錦多峰浄水場では、急速ろ過方式で水道水を作っています。

急速ろ過方式は、水中の濁りや溶けている物質を薬品で大きな固まりにして沈殿させ、きれいな上澄（つわすみ）水を水道水に利用する方式です。この方式は、ろ過速度が速く、少ない敷地面積で多量の水を効率的に処理できることから、全国の大部分の浄水場で採用されています。住宅などが密集し、地区あたりの水需要が高い市内西部地区の特性に合ったろ過方式と言えます。

錦多峰浄水場では、取水後約7時間で水道水が出来上がり、約36時間後には各家庭の蛇口へ届きます。一日の平均給水量は約2万m<sup>3</sup>となっています。

未来のおいしい水を  
守るために